

(様式3)

## 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成25年2月18日

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0893400036		
法人名	社会福祉法人 清河会		
事業所名	サングリーンピア大子ケアセンター	ユニット名	
所在地	〒319-3361 茨城県久慈郡大子町頃藤4144		
自己評価作成日	平成24年9月13日	評価結果 市町村受理日	平成25年2月5日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報 リンク先URL	<a href="http://www.kaigokensaku.jp/08/index.php?action_kouhyou_detail_2012_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=0893400036-00&amp;PrefCd=08&amp;VersionCd=022">http://www.kaigokensaku.jp/08/index.php?action_kouhyou_detail_2012_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=0893400036-00&amp;PrefCd=08&amp;VersionCd=022</a>
-----------------	---

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成24年11月20日	評価確定日	平成25年2月1日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<ul style="list-style-type: none"><li>・ご利用者様本意、自己決定を基本といたします。</li><li>・月1回以上は園外行事を計画して、外出して気分転換する機会を設けております。その際の食事はメニューからご自分で好きな食事を選んでいただき外食としております。</li><li>・誕生会や施設行事の際にはご家族様にも参加していただけるよう事前に連絡をして交流を深めるよう努めております。</li><li>・ご利用者様の自宅での生活を継続できますよう、使い慣れた愛着のある家具・家財を利用させていただき、ご本人様・ご家族様の思い通りの居室づくりをしていただいております。</li><li>・自立支援とご家族様の経済的負担の軽減も含め、紙パンツから布パンツへの転換を勧めております。</li><li>・ご利用者様と一緒に手作りのおやつ等楽しんでおります。</li></ul>
---

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>事業所は山や田園地帯に囲まれた自然豊かな環境に立地しており、秋の紅葉などの風情を楽しみながら心穏やかに暮らせる環境となっている。</p> <p>利用者は職員と一緒に近隣にある物産センターへ散歩に出かけているほか、毎月公用車で花見や水族館、林檎狩り、買い物、レストランなどに出かけており、ケーキ屋で好きなケーキを選びお茶を飲みながら食べるなど、利用者が楽しめるような外出支援をしている。</p> <p>職員はレクレーションやゲームを工夫しながら行っており、自宅で使用しないぬいぐるみをゲームの景品にしたり、自宅で栽培している野菜を持参して利用者と一緒に漬物を漬けるなど、利用者が楽しめるよう努めている。</p> <p>管理者と職員は一丸となって利用者が自宅にいた時と同じような生活ができ、心穏やかに暮らせるよう支援している。</p>
--

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	職員により理念を作成し、事業所内に掲示して、職員間で理念を共有してサービスの提供に実践しております。	全職員で地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所独自の理念を作成している。理念を居間の見やすい場所に掲示するとともに、管理者は内部研修を通して理念の共有を図り、実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域商店や各種団体との繋がりを持つことが大切と心得、事業所の必要物資の調達など、日常的に交流を持っております。又、近隣の物産センターへは、ご利用様も同行で出かけております。	利用者は職員と一緒に近隣にある物産センターなどに散歩に出かけ、近隣住民と会話を交している。 利用者は保育園の運動会に招待されて玉手箱ゲームに参加しているほか、小学校の収穫祭に招待され、児童の発表やボランティアによるトランペット演奏を鑑賞するなど、地域と交流している。 老人会の方が多数来訪しており、利用者は一緒にお茶を飲みながら会話を楽しむなど、日常的に地域の人々と交流している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	現在のところ特別には行っておりませんが、相談等をいただいた方々には、認知症について症状の理解や支援方法についてお話をさせていただいております。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	町福祉課職員、地域包括支援センター職員、民生委員2名、地域住民代表2名、ご利用者様ご家族の代表2名にて構成し、会議開催時には活発な意見・情報交換や指導を受けサービスの質の向上に活かしております。	運営推進会議は利用者や家族等、町職員、地域包括支援センター職員、区長、民生委員、老人会会長などで2ヶ月に1回開催し、会議録を作成している。 事業所は今年4月に開設し、小規模多機能型居宅介護事業所と併設しているため、会議では地域包括支援センター職員がサービス内容の違いや利用の仕方などの説明をしているほか、小学校や中学校、地域住民との交流について話し合い、出た意見等をサービスの質の向上に活かしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	2か月に一度の運営推進会議時や役場窓口訪問時に利用状況の報告や情報交換を行い、協力関係構築に取り組んでおります。	町職員が運営推進会議に出席している。管理者は町担当者を訪問した際には事業所のパンフレットを届けるとともに、事業所開設に伴う関係書類や介護保険に関して相談をしたり、入居者の状況などを報告している。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	不審者の侵入防止のため玄関は全てオートロックとなっているため施錠等は行っておりません。身体拘束に関しては個人の生命に関わるなど、緊急上已むお徳ない場合は、本人その家族に対して、その必要性等の詳細を説明し十分な理解を得た上で、文書にて明文化と記録を取ることにしております。	身体拘束排除マニュアルを作成し、職員は禁止の対象となる身体拘束の行為と弊害を理解している。事業所は国道沿いに立地しており交通量が多いため、利用者の安全面に配慮して玄関はオートロックとなっているが、玄関の解錠に向けて職員会議などで話し合っている。併設している小規模多機能型居宅介護事業所への扉を常に開放しており、利用者がいつでも往来し、自由に交流ができるよう支援している。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	法人内外で高齢者虐待防止法等について勉強する機会を設け、職員間での共通の認識と理解を図れるよう努めてゆきます。又、日々のケアの中でも職員間でお互いに注意を払い、虐待防止に努めてゆきます。			
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるように支援している	法人内外で権利擁護について勉強する機会を設け、職員間での理解を深められるよう努めてゆきます。			

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約締結時において、重要事項説明書並びに契約書及び利用料金についての説明を十分に行い、ご利用者様・ご家族様の理解・納得を得られるよう図っております。内容の変更や改定等の際は事前に文章にてお知らせするよう契約書に明記されており、契約時に説明しております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	2か月に一度の運営推進会議にご家族様にも参加していただき、町職員、民生委員・地域住民代表の方々の意見交換の場を作っております。又常に利用者様やご家族様の貴重な意見をサービスの質の向上のために反映させてゆくよう心掛けております。	2ヶ月に1回開催する運営推進会議に利用者や家族等が出席し、町職員や地域住民の代表と意見交換をしている。 家族等の面会が多く、管理者や職員は家族等の来訪時に話しかけたり、問いかけたりして意見や要望を出してもらえよう努めるとともに、出た意見等を運営に反映させている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	管理者は月1回の主任会議や職員会議に参加して職員からの意見や要望を聞く機会を持ち働き甲斐のある環境づくりに努めております。	管理者は月1回の職員会議や空いた時間を利用して職員から意見や要望を聞くよう努めている。 管理者は勤務体制や備品購入など、職員の要望に迅速に対応するよう努めている。	
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	当法人で毎年度末に行っている自己評価シートの提出を行う予定であります。個々の職員の職場環境や労働条件等に対する意見や希望を参考として、職員各自が向上心を持って働き続けられるよう環境・条件の整備に努めてゆきます。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	多くの職員が法人内外の研修に参加できるよう配慮しております。又、職場内年間研修計画を作り実践しております。日々の業務の中で必要な助言・指導を行いながらトレーニングしていくことを進めております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	法人内の他事業所相互を訪問して交流する機会をつくり、情報の交換や提供することで、サービスの質の向上に取り組んでおります。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居される前にご自宅訪問を行い、ご本人様との面談を行い、会話の中でご本人様の思いを引き出し受け止められますよう、受容と傾聴の姿勢で努めております。不安や要望一つ一つに細やかな説明を行いながら信頼関係を構築して不安を軽減して、安心して利用していただけますよう努めております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居される前の面談や準備段階を通して、ご家族様が不安を要望を気兼ねなくお話ししていただけるよう傾聴・共感しながら雰囲気、環境づくりに配慮して信頼関係の構築に努めております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用開始前の面談においてご本人及びご家族様の必要とするサービスを見極め、他のサービスや社会資源を必要としている場合には、情報提供などの対応に努めております。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご利用者様の心身の状態に合わせて、日常の中の掃除、洗濯、炊事を一緒に行っていただいております。先輩として誉め称えながら、多くの会話を持つことでコミュニケーションをとり、共に生活する者として支えあう関係づくりに努めております。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	病院受診を基本的に家族様対応でお願いし、ご本人様の心身の状態を把握していただけるように努めております。そうすることでご利用者様自身も家族との繋がりを感ずることが出来安心して生活できております。又、ご利用者様の生活状況や変化などを細やかに報告、相談しながら支援しております。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご本人様が希望される理美容室への連絡や送迎を行い、馴染みの関係を継続できますよう支援しております。ご家族様やお知り合いの訪問にも時間の制限なく対応させていただきます。	管理者は利用者の行きつけの理・美容院を継続して利用ができるよう電話連絡や送迎をしている。 毎月1回から3回程自宅へ外出する利用者があり、職員は送迎をしている。 職員は利用者の誕生日会や敬老会に家族等に出席してもらえるよう電話などで促し、関係が途切れないよう支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者様同士の関係性を把握し、座席の配置などにも気を配りながら、ご利用者様同士が常にコミュニケーションが取れますよう支援しております。全員で協力しながら行うレクリエーションなども取り入れ、楽しい時間を過ごしていただけますよう支援しております。		
22		○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所時には必要なサービスが受けられますよう連絡調整させていただきます。又、退所された後でも、電話や訪問などで生活の様子をお伺いしております。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	毎日の生活の中で、常にお一人おひとりの暮らしに対する思いや意向を把握できますよう個々の生活を見つめながらコミュニケーションをとるように努めております。	職員は基本情報から利用者の生活歴を把握するとともに、日々の支援経過記録や利用者の表情やしぐさから気付いたことをミーティングなどで話し合い、全職員で共有している。 職員は入居間もない利用者に対し、気を遣わないで希望や意見が出せるよう、雰囲気づくりや言葉かけに配慮している。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	申し込みをされた時点から開始初期段階において、聞き取りにより必要な情報の把握に努めております。又共同生活をしていく中で、コミュニケーションをとりながら徐々に把握できますよう努めております。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の生活を支援させていただきながら、おひとりお一人の有する能力を見極め、ご自分でできることや援助が必要なことを把握するよう努めております。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	介護計画はご本人様とご家族様の希望をお伺いしながら、お一人おひとりの生活の中の解決すべき課題を抽出し、現状に即した介護計画を作成しております。心身の状態に変化が見られた時や必要と思われる時にはその都度見直しを行ってゆきます。	介護計画は介護支援経過を基に全職員で意見交換をし、利用者や家族等の意見や要望を取り入れて作成するとともに、家族等の来訪時に説明して確認を得ている。 モニタリングを実施しておらず、利用者の現状に即した介護計画に見直すまでには至っていない。	モニタリングを行い、利用者の現状に即した介護計画に見直すことが望まれる。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の日常生活の様子や変化、気づきなどを個別の生活記録に記入し、特に重要なことは申し送りノートをつくり、ローテーションで時間差の出勤時には必ず目を通すようにして職員間で情報を共有しております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	移動手段のない奥様の待つ自宅への外出支援や、ご家族の対応が困難な時の受診の同行や買い物援助など随時対応させていただいております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ご本人様が安心して毎日を過ごすことが出来ますよう、主治医や他の医療機関、消防署との連携を図っております。又、日々の生活が楽しみのある豊かなものとなりますよう近隣の保育所、学校との交流や行事参加、外出やボランティアや慰問の受け入れを行っています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	長年の信頼関係を築いておられるかかりつけ医の受診継続を支援しております。可能な限りご家族様同行での受診を基本として、受診の際に必要な情報を提供しております。ご家族様の都合の付かない時等には受診同行してご本人様の状況把握と、主治医との連携を図っております。	殆どの利用者が入居前からのかかりつけ医を受診しており、基本的には家族等が付き添って、受診結果の報告を受けているが、家族等の要望があれば職員が付き添い、受診結果を電話で報告している。 利用者のかかりつけ医による訪問診療を支援しているほか、併設している小規模多機能型居宅介護事業所の看護職員が利用者の健康チェックを行っており、適切な医療が受けられるよう支援している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	健康チェックを午前と午後に行い体調変動の早期発見に努めております。異常が見られた場合は、併設の小規模事業所看護師や母体特養看護師に状況を報告し、適切な処置や対応が受けられますよう支援しております。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	ご本人様が入院した際には安心して治療ができ、又早期に退院できますよう、医療機関との情報交換やカンファレンスを開催するよう支援させていただきます。日ごろから受診同行や情報提供などで医療機関との連携が図れますよう努めてゆきます。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	開設間もない現時点では当事業所は終末期ケアは実施していないため、心身の重度化や終末期を迎えた段階で、家族や主治医とのカンファレンスを行いその後の支援について方針を決定していくことが必要になると思われます。	重度化や終末期に向けた事業所の対応方針について職員や医療関係者で話し合っておらず、方針を定めたり明文化するまでには至っていない。	職員や医療関係者で話し合い、重度化や終末期に向けた事業所の対応方針を定めるとともに、明文化して利用者や家族等に説明し、同意を得ることを期待する。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	看護師の急変時の対応についての職員全員参加の勉強会を開催しております。また緊急時対応マニュアルを作成し適切な対応が取れますよう備えております。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防署の指導の下、月1回の避難訓練を計画・実施しております。今後は地域学区内の協力体制を構築していくことが必要と考えております。	消防署指導のもと避難訓練を年2回実施するとともに、夜間想定を含めた自衛消防訓練を毎月実施し、訓練後に検討会を行って実施記録を作成している。 災害時における地域住民との協力体制を構築するまでには至っておらず、避難訓練に近隣住民の参加を得るまでには至っていない。 乾パンや缶詰、レトルト食品、飲料水などを備蓄するとともに、賞味期限を明記した備蓄一覧表を作成している。	災害時における地域住民の協力体制や避難訓練への参加について、運営推進会議で話し合うことを期待する。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	全職員がご利用者様お一人お一人を個人として尊重し、尊厳ある言葉かけやプライバシー確保を心がけております。個人情報の使用同意は利用契約の際、文章にて確認させていただいております。	職員は基本情報から利用者一人ひとりの生活歴を把握するとともに、人格を尊重した言葉かけやプライバシーを損ねない対応を心がけている。 入浴介助は1対1で行ったり、トイレ誘導は小声で声かけをしてトイレの外で待つなど、プライバシーに配慮して支援をしている。 個人情報に関する書類は事務所の鍵のかかるキャビネットに保管している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	職員が常にご利用者様への言葉かけの機会を多く持つことにご利用者様の発する言葉に耳を傾け、行動や表情にも気を配るよう努めております。入浴時などご自分で着替えを準備していただいたり、外出時のメニューを自分で決めるなど可能な限り自己決定できるように働きかけを行っております。			
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	毎日日課の基本となる食事、掃除、体操、入浴以外の時間は、お一人お一人の好みやペースに合わせて自由に過ごせるよう支援しております。読書の好きな方が、好きな時に好きな場所で好きなだけ読書をされている姿が見られています。			
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	季節に合わせてご本人様の好みの衣類を着用できますよう、家族と連絡を取りながら衣類の入れ替えや整理などの支援を行っております。頭髪が伸びた時にはご家族様へ連絡して馴染の理美容室を利用して好みのスタイルを楽しめますよう支援しております。			

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	ご利用者様の状態に合わせて、可能な限り炊事や後片付けをご利用者様と一緒にを行うようにしております。移動可能な方はご自分のお膳を運んだり、高齢な方のお膳も運んでいたりと協力しながらの食事の時間が楽しみとなれますよう支援しております。	職員は利用者と一緒に食卓を囲みながら同じ食事を摂り、利用者が食事を楽しめるよう声かけをしている。 利用者はできる範囲で職員と一緒に配膳や下膳、お盆拭き、食器洗いなどを担っている。 敬老の日などの行事食を提供したり、毎月誕生会を催すほか、月1回公用車でレストランなどに外出に出かけられるよう支援しており、食事が利用者の楽しみの一つとなっている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一日を通じて、水分補給の回数を多くとり十分な水分摂取に努めております。食事の摂取量はお一人おひとりの好みや習慣に合わせて形状を変えたりしながら調整しております。疾病により日によって状態変動のあるご利用者様には状態に合わせた支援を行っております。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後に口腔ケアを実施しており、自力歩行の可能な方は食後の習慣となり、自ら洗面台へ向かう姿が見られております。義歯使用のご利用者様は夕食後は洗浄剤を使用して、洗浄消毒を行い、口腔内清潔保持、肺炎予防に努めております。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	導尿の利用者様を除き、定時の誘導や排泄パターンの把握により、すべての利用者様がトイレでの排泄を行っております。入居時に紙おむつや紙パンツを使用していた方も布パンツを使用へ転換することが出来ております。夜間の安全の為に、ご本人の希望によりポータブルも使用して自立支援を行っております。	職員は排泄チェック表を作成し、利用者の排泄パターンを把握している。 現在は職員の声かけや誘導で利用者全員がトイレで排泄ができています。 入居時に紙おむつや紙パンツを使用していた利用者が、職員の適切な声かけや誘導により布パンツ使用に改善しているほか、夜間は居室にポータブルトイレを置き、排泄の自立に向けた支援をしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎朝食にヤクルトを提供、朝の全員での掃除や体操を日課として適度な運動の機会を作ることと、十分な水分摂取を支援して便秘予防に努めております。排泄管理表の記入にて個々の管理を行っております。自己管理にてバナナを希望されている方への個別支援も行っております		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	高齢なご利用者様の身体的な負担も考慮しまして、現在は一日おきの入浴となっておりますが、ご利用者さまの状態に応じていつでも入浴は可能となっております。個浴となっておりますのでゆっくりと入浴でき、仲の良い利用者様同士で順番を相談するなど、入浴が楽しみとなれますよう支援しております。	入浴は1日おきで午後の時間帯を基本としているが、利用者の状態に応じていつでも入浴が可能となっている。 入浴の順番は利用者同士で決めており、一人ずつゆっくり入浴ができるよう支援している。 利用者が安全に入浴ができるよう浴室に手すりを設置している。	
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	利用者様のご希望や体調に合わせ、居室での休息を自由におとり頂いております。夏場の居室が暑い時期には、就寝1時間前にはエアコンのスイッチを入れ、適度な室温で心地良く眠れますよう支援しております。		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	お一人おひとりの処方箋をお預かりして個々の服薬状況を全職員が把握して、毎日の服薬管理を行っております。点眼薬については、もれや重複が無い様チェック表を作り管理しております。常に状態の変化に気を配り、個々の状態把握に努めております。		
48		○役割、楽しみごとの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	毎日の生活の中で、掃除・洗濯干し・洗濯物たたみや炊事など個々の能力に応じて役割を持った張り合いのある生活を送れますよう支援しております。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	併設の事業所間の仕切り扉を常に開放して、通所の利用者様との交流も自由にとれるよう配慮しております。又、ご本人様の希望に沿って馴染の理美容室への外出や買い物、ドライブなど屋外へ出かける機会作りの支援も行っております。	<p>天気の良い日は利用者は近隣にある物産センターまで散歩に出かけ、顔馴染みの方と会話を楽しんだり、アイスクリームや蕎麦などを食べて気分転換が図れるよう支援している。</p> <p>毎月公用車で花見や水族館、林檎狩り、福祉施設見学などに出かけているほか、利用者の希望にそって公用車で買い物に出かけたり、ケーキ屋で好きなケーキを選びお茶を飲みながら食べるなど、利用者の楽しみとなるような外出支援をしている。</p>	
50		○お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭管理能力の低下してしまっているご利用者様に対してはご家族様と相談の上、事業所において金銭の管理をして収支報告を行っております。金銭所持を希望するご利用者様にはご家族様のご理解のもとで、少額の小遣いを所持して、外出時に買い物ができるよう支援させていただいております。		
51		○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人様の希望により、家族への電話をかけ交流を持ち、家族との繋がりを感じ安心して生活していただけますよう支援しております。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	フロアには常に花を飾っております。又リビングからは中庭がガラス越しに見ることが出来、太陽の光や緑を感じられるようになっております。壁には職員手作りの日めくり型のカレンダーをかけ日時確認が出来るように工夫しております。フロア、各居室とも温度・照明の細やかな管理を行い、居心地よく過ごしていただけるよう配慮しております。	<p>居間兼食堂は広く天窓から太陽の光がそそぎ、明るい空間となっているほか、一角にソファを設置して利用者同士が会話をしたり、ゆったり過ごせるよう配慮している。</p> <p>居間兼食堂に観葉植物や季節の花を飾ったり、壁に利用者が書いた書道や塗り絵などを飾っている。</p> <p>廊下やトイレ、浴室は広く清潔に保たれているほか、利用者の安全に配慮していずれも手すりを設置している。</p> <p>居間兼食堂や廊下、トイレ、居室の温度は一定に保たれ、利用者が居心地よく過ごせるよう配慮している。</p>	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	フロアには大きなテーブルを設置して常に団欒が持てるようになっており、少し離れた所にも別の小テーブルを置き、座席は自由となっております。壁にはソファを設置して寛げるようになっており、玄関にも外を眺められるよう長椅子を設置して、個々が思い思いの場所で過ごせるよう工夫しております。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご自宅で長年使用し思い入れのある家具・家財、好みのもの等を持ち込んでいただき、ご本人やご家族様が自由に配置して頂くことで意心地の良い居室作りを心がけています。	管理者は契約時に利用者や家族等に馴染みの品物を持参してもらえよう説明している。 居室はフローリングでカーテンやエアコン、タンス、ベッドが備え付けられている。 利用者は家族等と相談して使い慣れた布団や椅子、タンス、小物などを持ち込み、これまでと同じような生活ができるよう利用者好みの居室づくりをしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物内部には手すりを設置し自立歩行、安全に移動・移乗ができますよう配慮しております。又、施設内の段差をなくすことで、車椅子使用のご利用者様が自走して自由に思いのままに移動ができるようになっております。		

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○ 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ毎日のように <input type="checkbox"/> 2, 数日に1回程度ある <input type="checkbox"/> 3, たまに <input type="checkbox"/> 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="checkbox"/> 1, 大いに増えている <input type="checkbox"/> 2, 少しずつ増えている <input type="checkbox"/> 3, あまり増えていない <input type="checkbox"/> 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての職員が <input type="checkbox"/> 2, 職員の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 職員の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての家族等が <input type="checkbox"/> 2, 家族等の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 家族等の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない

(様式4)

## 目 標 達 成 計 画

事業所名 サングリーンピア大子ケアセンター

作成日 平成25年2月12日

### 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	26	モニタリングを実施しておらず、利用者の現状に即した介護計画に見直すまでに至っていない。	利用者様がよりよく暮らすための課題やケアのあり方について、毎月のモニタリングを行い、現状に即した介護計画の見直しを行います。	毎月の職員会議時のカンファレンスで、個々の状況や変化を把握し記録を行っております。現状に即した介護計画の見直しを必要に応じて行っております。	6か月
2	33	重度化や終末期に向けた事業所の方針について職員や医療関係者で話し合っておらず、方針を定めたり、明文化するまでには至っていない。	重度化や終末期に向けた事業所の方針について職員や医療関係者で話し合い、事業所の現状での対応力を把握してどこまでの支援が出来るのか見極めを行い、方針を明文化して説明を行います。	職員や医療関係者で話し合い重度化や終末期に向けた事業所の対応方針を定め明文化して、ご利用者様ご家族様に十分に説明を行い同意を得るよう努めてゆきます。	10か月
3	35	災害時における地域住民との協力体制を構築するまでには至っておらず避難訓練に近隣住民の参加を得るまでには至っていない。	災害時における地域住民の協力体制や避難訓練への参加について運営推進会議で話し合いを行い、避難訓練への地域住民の参加を計画します。	2月の運営推進会議の議題として取り上げ、4月予定の避難訓練時の協力を要請する方向での話し合いを予定しております。	2か月
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。